

※このメールは、東京都産業教育振興会の会員の皆様に対し、一斉に送付しています。



東京の産業と教育（電子版）

第62号 令和7年10月10日



この会報電子版は、専門高校を中心とした産業教育の魅力を発信しています。

会報電子版の記事は、都産振HPにも一部掲載されております。合わせてご覧いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

東京都産業教育振興会HP <https://www.tosanshin.org/>

☆今号のコンテンツ——☆

- 【1】東京都生徒商業研究発表大会（8月）
- 【2】全国高等学校長協会家庭部会関東地区家庭学科・コース(系)設置高等学校長連絡協議会（東京大会）（9月）
- 【3】東京都農業高等学校教育研究会第2回総会（9月）
- 【4】東京都産業教育振興会創立70周年記念座談会（9月）
- 【5】産学懇談会（第2回）報告（9月）
- 【6】中・高生対象実習船「大島丸」体験航海（10月）
- 【7】産学懇談会（第3回）のお知らせ
- 【8】情報提供のお願い



【1】東京都生徒商業研究発表大会（8月）

令和7年8月26日（火）、都立第五商業高等学校において、東京都商業教育研究会主催の令和7年度東京都生徒商業研究発表大会が開催されました。この大会は、商業を学ぶ生徒が商業に関する課題を設定し、その解決を図る一連の研究活動の中で、生徒の問題解決能力や創造的学習態度を育てるとともに、その成果を発表する機会を通して、生徒の表現力やコミュニケーション能力を育成することを目的としています。さらに、この大会を通して、①時代の進展に伴い変化していく経済活動に対応しうる資質



東京都商業教育研究会
会長 智片将也

を身に付けさせる、②研究成果の発表により、相互研鑽に資する姿勢を身に付けさせる、③大会に関連する一連の行動を通じ、規律ある団体生活の態度を身に付けさせる、という教育成果の実現を目指しています。

いずれのチームも素晴らしいプレゼンテーションでした。

事前に提出された研究報告書も含めた審査の結果、以下の学校が入賞しました。

○最優秀賞

都立第五商業高等学校の「What is Misophonia ?
—ミソフォニアの認知度を高めるために—」

○優秀賞

都立芝商業高等学校の「ひがたぐらむ —ひがた部を
キッカケに竹芝干潟の認知度向上—」

今大会の審査委員は、千葉商科大学商経学部の永井克昇先生、東京都教育庁指導部の中嶋郁絵指導主事、日本政策金融公庫の向笠大樹東京創業支援センター長、(株)エマリックにたちの菱沼勇介代表取締役でした。

審査委員お一人お一人から熱く丁寧な講評があり、研究発表に取り組んだ生徒や指導に当たった先生方には、大変励みになったと感じました。



東京都商業教育研究大会
大会委員長 校長 野路 強



最優秀賞 都立第五商業高等学校



優秀賞 都立芝商業高等学校

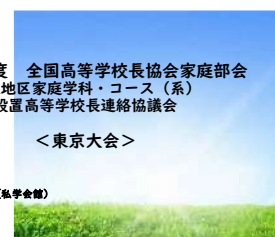
【2】全国高等学校長協会家庭部会関東地区家庭学科・コース(系)設置高等学校長連絡協議会（東京大会）（9月）

令和7年9月4日（木）、アルカディア市ヶ谷（私学会館）を会場として、令和7年度全国高等学校長協会家庭部会関東地区家庭学科・コース(系)設置高等学校長連絡協議会（東京大会）が開催されました。

この大会は、家庭に関する学科・コース(系)について、現状と課題を把握し、今後の教育の在り方、教育課程、教育内容、教育活動等に関して研究協議を行うことにより、家庭に関する学科等の充実・発展を図るものです。

令和7年度 全国高等学校長協会家庭部会
関東地区家庭学科・コース(系)
設置高等学校長連絡協議会
<東京大会>

令和7年9月4日
アルカディア市ヶ谷（私学会館）



大会は、都立赤羽北桜高等学校金澤正美校長の司会により進められました。開会挨拶を、全国高等学校校長協会家庭部会高木伸一理事長、続きまして主催者を代表して東京都立南多摩中等教育学校富川麗子統括校長、来賓挨拶を文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室教科調査官国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官田邊暁子様、東京都教育庁指導部高等学校教育指導課長小林靖様より頂きました。

挨拶後、研究協議Ⅰに移り、本部事務局報告や各都県の状況報告等が行われました。続きでの講話では、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官田邊暁子様より、「学習指導要領のよりよい実施を目指して～質の高い家庭科教育に向けて～」のお話を頂きました。

講話後、実践報告・研究協議Ⅱに移り、「忍岡高校生活科学科の実践」都立忍岡高等学校紺野智恵子校長、「地域や社会の持続的な発展を担う産業人材育成のための家庭科教育の実践」神奈川県立吉田島高等学校岩崎秀太校長の実践報告がありました。

研究協議Ⅱは、家庭科教育に関する充実・発展について、令和10年度秋季研究協議会について、研究協議会（秋季）「研究協議」関東ブロック提案校（令和8年度・10年度）について協議されました。

その後、指導講評、次期開催県よりご挨拶、閉会の言葉をもって、閉会となりました。

参加者からは、「実践報告が具体的で参考になり、今後の教育活動に生かせそうだ。」、「文部科学省からの講話が大変わかりやすく、質の高い家庭科教育の方向性を再確認できた。」「多様な視点から意見交換でき、有意義な一日となった。」などの声が聴かれました。



【3】東京都農業高等学校教育研究会第2回総会（9月）

令和7年9月6日（土）、都立瑞穂農芸高等学校を会場として、令和7年度東京都農業高等学校教育研究会第2回総会が開催されました。

この会は、東京都における農業高等学校教育の発展並びに農業教育の振興のため、教職員の研修の充実を図り、併せて会員相互の親睦を深めることを目的とし、今年度は、58名の参加がありました。

開会のことばを都立瑞穂農芸高校金子将之副校長、幹事長挨拶を都立瑞穂農芸高校大畑哲也校長がされました。引き続き、令和7年度会務事業中間報告を都立瑞穂農芸高校大畑哲也校長等が行い、全体会を終了いたしました。



全体会に続き、国立大学法人東京農工大学教授天竺桂弘子氏による「外部との連携および昆虫の農業分野での利用について」のご講演がありました。

講演後、各研究部会の進捗確認や誌上発表の内容、担当者確認がなされ、事務局より第3回総会の日程（令和8年1月10日（土））について連絡されました。

最後に閉会の言葉を都立瑞穂農芸高校金子将之副校長により告げられ閉会となりました。

【4】東京都産業教育振興会創立70周年記念座談会（9月）

令和7年9月19日（金）、創立70周年記念事業の一環として都庁内会議室にて創立70周年記念座談会を開催しました。座談会のテーマは、「専門高校の現状とこれから目指すこと」とし、産業教育に関わる農業、工業、商業、家庭の各学科・学校における現状と課題、今後の展望についてお話を頂きました。



西澤会長から、座談会の趣旨についてお話をいただき、河野敏弘主任指導主事（司会）から、「10年間（平成28年度から令和7年度まで）を振り返って、各学科ではどのような変化がありましたか。」、「いろいろと課題はありますが、改めて各学科の魅力についてお聞かせください。」などいくつかのご質問をさせて頂き、その質問に対して参加者から各科の現状と課題、今後の専門高校の在り方についてご意見をいただきました。最後に、専門高校に望むこととして、西澤宏繁会長及び小林治彦副会長よりお言葉を頂きました。

参加者の皆様からは、貴重なご意見をいただき大変有意義なものとなり、今後の都立専門高校の在り方が示されたと感じました。

なお、この座談会の詳細は会誌「東京の産業教育」第63号（令和8年3月発行）に掲載いたします。

当日の出席者（敬称略）は以下の通りです。

西澤宏繁	会長	Fore Vision 株式会社取締役
小林治彦	副会長	東京商工会議所常務理事
並川直人	副会長・理事	都立農業高等学校長（農業）
釦持利治	理事	都立六郷工科高等学校統括校長（工業）
山田和人	理事	都立芝商業高等学校長（商業）
金澤正美	理事	都立赤羽北桜高等学校統括校長（家庭）
河野敏弘	理事	教育庁指導部主任指導主事（産業教育担当）（司会）

【5】産学懇談会（第2回）報告（9月）

令和7年9月25日（木）、都立瑞穂農芸高等学校を会場に第2回産学懇談会を開催しました。

都立瑞穂農芸高等学校は、東京都西多摩郡瑞穂町にある専門高校で、農業や家庭に関する専門的な教育を行っている学校です。

開会の挨拶を西澤宏繁会長、安藤紗季都立学校教育部高等学校教育課課長代理（計画担当）、大畑哲也会場校校長より頂き、その後、校内見学（施設・設備等）を行いました。

見学後、大畑校長から学校概要や特色ある教育活動について説明を頂きました。その後、懇談に移り、参加者から施設見学・学校説明に対する質問・感想が述べられました。また、園芸科学科・畜産科学科・食品科・生活デザイン科の現状と課題、教育活動への期待について意見交換を行い、有意義な機会となりました。

参加された方々のご感想を一部ご紹介いたします。

- ・東京都内ではなかなか体験できない経験で大変勉強になりました。
- ・生徒の皆さんの顔が生き生きされていて感心いたしました、都内の中でこの学びができるということは素晴らしいと思いました。
- ・「生命（いのち）に学ぶ学校」というコンセプトに感服いたしました。
- ・都立高校の現場を見ることができ、非常に参考になりました。
- ・企業の皆様から農業高校に対する感想等を聞くことができ、大変勉強になりました。
- ・現場で将来の世代を育てている様子を見ることができ、とても良かった。
- ・生徒が全員、笑顔で挨拶している姿に素晴らしいと思いました。
- ・貴校の教育は、「生命に学ぶ学校」幸せの原点と思う。

都立瑞穂農芸高等学校の皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



【6】中・高生対象実習船「大島丸」体験航海（10月）

令和7年10月1日（水）、都立大島海洋国際高等学校の実習船「大島丸」を会場に、中・高生体験航海が午前の部と午後の部の2部に分かれて実施されました。

当日、午前・午後の部を合わせて、都内の中学生とその保護者、高校生の計63名が参加されました。特に中学生は多くの応募があり、大島丸の人気があることが分かりました。

午前の部は、緊張している中学生もいましたが、次第に緊張もほぐれ、楽しさを感じているようでした。

初めに船内で乗船式を行いました。続いて、航海士により乗船における注意事項を説明した後、3班に分かれ、船内を見学しました。多くの参加者は、操舵室（ブリッジ）や生徒居住部屋、お風呂など、普段は入れない場所を見学し、「はじめて船に乗った」、「操舵室はドラマや映画でしか見たことない。」と驚いていました。

見学後のクルージングでは、船のトップデッキから眺める東京湾の様子を楽しんでいました。クルージングの最中は、航海長や乗船教官などから目にする建物などの説明を受け、さらに興味・関心が高まりました。クルージングを終え、船内に戻り、浅野恵治校長より学校概要についてお話を頂きました。続いて、国土交通省関東運輸局海事振興部船員労政課長谷川行宏課長による講演「海にはどんな仕事があるの？」をお話しされました。

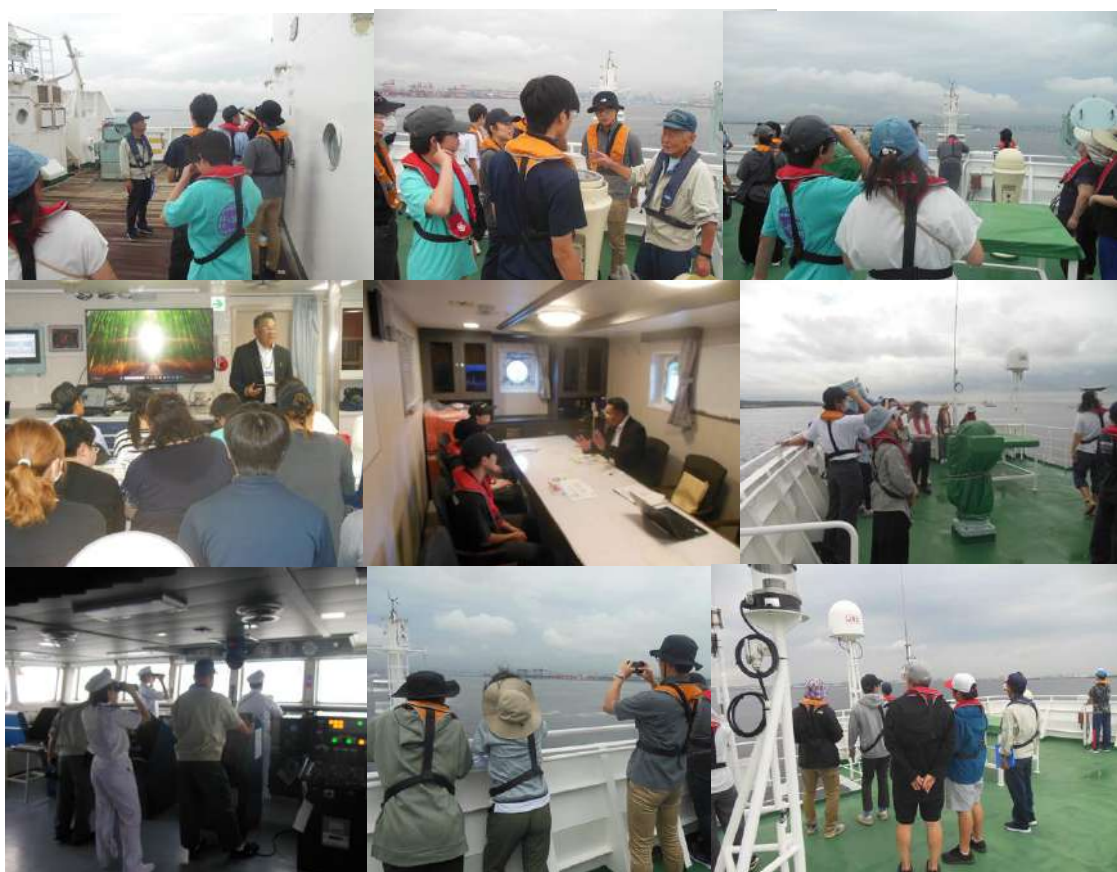
講演後、全体の質疑応答を行い、下船式となり午前の部を終了いたしました。

午後の部は、午前の部と同様な流れで行いました。午前に引き続き、高校生には、長谷川課長により「海のプロフェッショナルになるには？～航海士・機関士・水産業界の仕事～」、資格制度（三級海技士など）、育成機関、進路ルートについて、また、林雅樹日本海峽事業株式会社運航事業部事業部部長補佐より海運関係の仕事についてお話を頂きました。

今回の体験航海に参加した方々の感想は、「海や船が今まで以上に好きになった」、「船の楽しさを実感できた」、「将来、船に関わる仕事に就きたい」など、非常にポジティブで印象深いものが多く、中・高校生や保護者にとって貴重な経験となったようです。

都立大島海洋国際高校及び大島丸の船員、関係者の皆様には、大変お世話になりました。





【7】産学懇談会（第3回）のお知らせ

産学懇談会（第3回）は、J R高田馬場駅から徒歩1分のところにある学校法人川口学園早稲田速記医療福祉専門学校で実施いたします。会員の皆様には、近日中に、ご案内を差し上げる予定です。ぜひ、産学懇談会（第3回）にお越しくださるようお願い申し上げます。

- 1 日 時 令和7年12月2日（火）午後2時から午後5時まで
 - 2 会 場 学校法人川口学園早稲田速記医療福祉専門学校
〒171-8543 東京都豊島区高田 3-11-17 電話 03-3208-8461
 - 3 内 容(当日、多少の変更はありますのでご了承ください。)
- (1) 開会（会長挨拶、会場校校長挨拶、日程説明）
 - (2) 校内見学（授業、施設・設備等）
 - (3) 学校紹介・懇談会
 - ①学校紹介
 - ・学校概要
 - ・特色ある教育活動
 - ②懇談会
 - ・参加者より自己紹介、感想や質問など
 - ・学校の現状と課題
 - ・専修学校の教育活動への期待等

「高田馬場駅」から徒歩1分の駅近キャンパス！

都内はもちろん、近県からのアクセスも便利です。



【8】情報提供のお願い

特色ある教育活動情報など、ホームページに掲載したもの、あるいは掲載していないけれども会員の皆様に知ってもらいたいものがありましたらお気軽に事務局早川までご連絡ください。会報電子版でご紹介させていただきます。

【お願い】

この「東京の産業と教育（電子版）」は全文が著作権で保護されていますが、東京都産業教育振興会の会員校や会員企業の内部では情報共有してくださるようお願いいたします。

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

東京都産業教育振興会 事務局 （担当：早川）

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

TEL 03-5320-6729 都庁内線 53-247

E-mail: Tadanori_Hayakawa@member.metro.tokyo.jp
